



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	124,127	0.4	9,032	△8.8	10,336	16.9	7,211	625.2
2021年3月期第2四半期	123,685	—	9,906	—	8,838	—	994	—

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 9,766百万円（-％） 2021年3月期第2四半期 74百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	72.00	—
2021年3月期第2四半期	9.87	—

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	369,697	290,088	70.5	2,615.78
2021年3月期	369,335	286,883	69.8	2,559.12

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 260,804百万円 2021年3月期 257,825百万円

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2022年3月期	—	23.00			
2022年3月期（予想）			—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	256,000	2.4	20,000	3.0	22,200	11.9	14,700	68.0	147.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、【添付資料】P13「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	100,750,620株	2021年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,046,536株	2021年3月期	2,816株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	100,154,885株	2021年3月期2Q	100,748,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
3. 補足情報	16
(1) 業績の状況	16
(2) グループ会社数	16
(3) 連結損益計算書の状況	17
(4) 連結貸借対照表の状況	20
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	20
(6) 設備投資の状況	21
(7) 減価償却費の状況	21
(8) 主要経営指標等	21
(9) 参考情報	22

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響は、変異株の流行に伴う感染再拡大などにより長期化しており、依然先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、本年4月より第七次中期計画をスタートいたしました。本中期計画では、「お客様に対して」「社員とその家族に対して」「社会に対して」という「3つの責任」の全てにおいてクオリティ企業への変革を加速するとともに、「スパイス系」「機能性素材系」「大豆系」「付加価値野菜系」の4系列のバリューチェーンを私どもの提供価値である「食で健康」をお届けする領域と定め、経営資源を成長領域へ重点的に配分することで持続的な成長をめざしております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、香辛・調味加工食品事業や健康食品事業が前年同期を下回ったものの、海外食品事業、その他食品関連事業の伸長などにより増収となりました。営業利益は、(株)壺番屋を連結子会社とした際に発生したのれんの償却が前期に完了したことによる増益効果がある一方、香辛・調味加工食品事業において前年同期に生じた巣ごもり特需の反動影響を受けたことなどにより減益となりました。経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した持分法による投資損失や減損損失の減少に加え、投資有価証券売却益を計上したこともあり増益となりました。

これらの結果、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	124,127	100.4
営業利益	9,032	91.2
経常利益	10,336	116.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,211	725.2

第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を適用しております。なお、当該会計基準等の適用については、「収益認識に関する会計基準」第84項に定める原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しているため、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

セグメント別の経営成績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	56,965	96.2	5,402	67.9
健康食品事業	7,039	87.0	△333	—
海外食品事業	19,440	106.4	3,227	108.6
外食事業	22,106	102.0	526	—
その他食品関連事業	22,867	110.1	799	86.8
小計	128,417	100.3	9,621	92.9
調整(消去)	△4,290	—	△589	—
合計	124,127	100.4	9,032	91.2

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、前年同期に生じた巣ごもり特需の反動影響のほか、広告宣伝費や減価償却費などコストが増加したことで減収減益となりました。

ハウス食品(株)が手掛ける家庭用事業は、コロナ影響の長期化に伴いお客さまニーズに変容が見られるなか、メニューバラエティの強化やプロモーションの見直しに加え、利便性と環境負荷低減の両立をめざしたレトルト製品のレンジパウチ化の推進など、新しい価値提案に努めました。

ハウス食品(株)や(株)ギャバンが手掛ける業務用事業の売上高は、外出自粛や店舗の営業縮小により厳しい状況が継続しているものの、前年同期は上回りました。なお、レトルト製品の製造を担うサンハウス食品(株)において大容量製品の製造ラインを2021年7月より稼働させております。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は569億65百万円、前年同期比3.8%の減収、営業利益は54億2百万円、前年同期比32.1%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は9.5%となり、前年同期より4.0pt減少いたしました。

なお当社グループは、2022年4月1日付でマロニー(株)の一部事業をハウス食品(株)に譲渡することを決定しております。詳細は、2021年9月30日公表の「マロニー株式会社からハウス食品株式会社への一部事業譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

<健康食品事業>

当事業セグメントは当期スタートとなる4月にハウスウェルネスフーズ(株)における国内家庭用製品の営業機能をハウス食品(株)に統合するなど構造改革を推進しておりますが、コロナ影響の長期化により厳しい事業環境が継続し、減収、営業損失となりました。

前期大幅減収となりました「ウコンの力」は、当期に入り新型コロナウイルス感染症が更に拡大したことで外飲み機会が長期間抑制されたこともあり、前年同期を下回りました。

一方、「C1000」「1日分のビタミン」などのビタミン類は、前期に低収益事業から撤退した影響から減収となりましたが、営業機能統合により販売チャネル分散化が進むなど、構造改革による成果が一部に見られました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は70億39百万円、前年同期比13.0%の減収となりました。営業利益は、原価低減や機動的なコストコントロールを実施しましたが、減収による影響を吸収するには至らず3億33百万円の営業損失、前年同期からは2億81百万円の減益となりました。結果、売上高営業利益率は△4.7%となり、前年同期より4.1pt低下しております。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2021年1月～6月

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・アセアン）において事業成長を継続し増収増益となりました。

米国豆腐事業は、原包材の値上がり影響を受ける一方、前期に稼働を開始したロサンゼルス工場新ラインの生産効率の改善が進み、増収増益となりました。

中国カレー事業は、家庭用事業が前年同期の巣ごもり特需の反動から減収となったものの、業務用事業がコロナ禍の影響を受けた前期からの回復のみならず、コロナ禍前の水準も上回ったことで、全体では増収となりました。利益面は、特需が発生した一方で事業活動の制限によりコストが抑えられた前年同期の反動が大きく、減益となりました。

タイ機能性飲料事業は、政府による消費刺激策により伝統的市場への配荷が促進されたことに加え、税負担の軽減もあり増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は194億40百万円、前年同期比6.4%の増収、営業利益は32億27百万円、前年同期比8.6%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は16.6%となり、前年同期より0.3pt向上いたしました。

<外食事業>連結対象期間：(株)壺番屋は2021年3月～8月、海外子会社は2021年1月～6月

当事業セグメントを取り巻く事業環境は、緊急事態宣言等に伴う店舗への営業時間の短縮要請が長期化、また要請エリアも拡大するなど、依然厳しい状況となりました。

(株)壺番屋は、引き続き安心してご来店いただける店舗運営に努めるとともに、配達代行の導入店舗拡充やWEB広告を用いたテイクアウトの訴求など、需要の取り込みを図っております。なお、海外店舗の状況はエリアごとに異なるものの、全体的に前年同期の大幅な落ち込みからは回復傾向にあります。

以上の結果、外食事業の売上高は221億6百万円、前年同期比2.0%の増収となりました。営業利益は、増収効果に加え、(株)壺番屋を連結子会社とした際に発生したのれんの償却が前期に完了したこともあり、5億26百万円、前年同期からは、19億69百万円の増益となりました。結果、売上高営業利益率は2.4%となり、前年同期より9.0pt向上いたしました。

<その他食品関連事業>

(株)デリカシェフは、焼成パン類や総菜類が好調に推移したことで生産性の改善が進み、増収増益となりました。

(株)ヴォークス・トレーディングは、MA米(ミニマム・アクセス米)の落札が増加したことで増収となりましたが、コロナ影響の長期化に伴う外食需要の低迷により減益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は228億67百万円、前年同期比10.1%の増収、営業利益は7億99百万円、前年同期比13.2%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は3.5%となり、前年同期より0.9pt減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,696億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億62百万円の増加となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金や有価証券が減少したことなどから、69億96百万円減少の1,499億43百万円となりました。固定資産は、建設仮勘定やソフトウェア仮勘定が減少した一方で、投資有価証券やソフトウェアが増加したことなどから、73億58百万円増加の2,197億53百万円となりました。

負債は、796億9百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億43百万円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、24億16百万円減少の494億94百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が減少したことなどから、4億27百万円減少の301億15百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得により自己株式が増加したことや、退職給付に係る調整累計額が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことや、為替換算調整勘定が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて32億5百万円増加の2,900億88百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.5%（前連結会計年度末は69.8%）、1株当たり純資産は2,615円78銭（前連結会計年度末は2,559円12銭）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用し、当該会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などを踏まえ、2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

・2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率	2021年実績 (会計基準適用後)
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	259,000	256,000	△3,000	△1.2	250,066
営業利益	20,000	20,000	—	—	19,413
経常利益	21,500	22,200	+700	+3.3	19,837
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,000	14,700	+1,700	+13.1	8,752

・セグメント売上高

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率	2021年実績 (会計基準適用後)
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
香辛・調味加工食品事業	121,700	119,300	△2,400	△2.0	120,380
健康食品事業	17,500	15,700	△1,800	△10.3	15,281
海外食品事業	36,100	39,000	+2,900	+8.0	34,056
外食事業	49,300	45,700	△3,600	△7.3	44,698
その他食品関連事業	42,400	44,600	+2,200	+5.2	43,922
調整額	△8,000	△8,300	△300	—	△8,271

・セグメント営業利益

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率	2021年実績 (会計基準適用後)
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
香辛・調味加工食品事業	14,000	13,700	△300	△2.1	15,614
健康食品事業	100	100	—	—	△396
海外食品事業	4,700	5,300	+600	+12.8	4,584
外食事業	2,600	1,400	△1,200	△46.2	△660
その他食品関連事業	1,500	1,600	+100	+6.7	1,770
調整額	△2,900	△2,100	+800	—	△1,498

(注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。今後、業績予想修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,905	71,201
受取手形及び売掛金	43,104	45,374
有価証券	9,515	5,503
商品及び製品	12,634	13,655
仕掛品	2,301	2,733
原材料及び貯蔵品	5,185	5,614
その他	5,472	5,954
貸倒引当金	△177	△91
流動資産合計	156,939	149,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,504	33,837
機械装置及び運搬具(純額)	17,639	19,818
土地	31,940	31,782
リース資産(純額)	1,586	1,714
建設仮勘定	3,138	1,502
その他(純額)	2,134	2,059
有形固定資産合計	89,942	90,714
無形固定資産		
のれん	312	290
商標権	19,370	19,111
ソフトウェア	1,554	3,837
契約関連無形資産	19,802	19,402
ソフトウェア仮勘定	2,268	729
その他	714	746
無形固定資産合計	44,021	44,114
投資その他の資産		
投資有価証券	60,268	66,172
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	782	620
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	9,947	10,553
破産更生債権等	638	634
長期預け金	1,080	1,074
その他	6,609	6,753
貸倒引当金	△1,892	△1,883
投資その他の資産合計	78,433	84,925
固定資産合計	212,396	219,753
資産合計	369,335	369,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,781	19,031
電子記録債務	1,847	1,684
短期借入金	3,650	3,772
リース債務	519	620
未払金	11,403	8,008
未払法人税等	3,814	3,479
賞与引当金	476	483
役員賞与引当金	80	36
株主優待引当金	92	95
資産除去債務	12	4
その他	13,238	12,280
流動負債合計	51,910	49,494
固定負債		
長期借入金	96	197
リース債務	1,142	1,156
長期未払金	215	167
繰延税金負債	21,976	21,388
退職給付に係る負債	1,948	2,016
資産除去債務	738	815
長期預り保証金	3,984	3,904
その他	442	473
固定負債合計	30,542	30,115
負債合計	82,452	79,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,829
利益剰余金	199,623	204,516
自己株式	△11	△3,566
株主資本合計	232,389	233,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,364	20,509
繰延ヘッジ損益	△34	41
為替換算調整勘定	△356	1,565
退職給付に係る調整累計額	5,462	4,961
その他の包括利益累計額合計	25,437	27,076
非支配株主持分	29,058	29,284
純資産合計	286,883	290,088
負債純資産合計	369,335	369,697

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	123,685	124,127
売上原価	75,829	77,553
売上総利益	47,856	46,575
販売費及び一般管理費	37,950	37,543
営業利益	9,906	9,032
営業外収益		
受取利息	106	103
受取配当金	370	371
受取家賃	394	425
為替差益	—	100
補助金収入	35	525
その他	209	292
営業外収益合計	1,114	1,816
営業外費用		
支払利息	27	24
貸貸費用	317	348
為替差損	265	—
持分法による投資損失	1,421	27
その他	152	114
営業外費用合計	2,182	512
経常利益	8,838	10,336
特別利益		
固定資産売却益	0	62
投資有価証券売却益	33	2,031
店舗売却益	50	45
その他	—	6
特別利益合計	83	2,144
特別損失		
固定資産売却損	11	0
固定資産除却損	59	110
投資有価証券売却損	13	—
投資有価証券評価損	3	14
減損損失	9,264	137
その他	4	0
特別損失合計	9,354	261
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△433	12,219
法人税等	967	3,981
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,400	8,238
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	994	7,211
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,394	1,027

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,242	△98
繰延ヘッジ損益	△4	86
為替換算調整勘定	△679	2,018
退職給付に係る調整額	△44	△443
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△36
その他の包括利益合計	1,474	1,528
四半期包括利益	74	9,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,434	8,850
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,360	916

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△433	12,219
減価償却費	5,016	5,234
のれん償却額	1,708	22
減損損失	9,264	137
持分法による投資損益(△は益)	1,421	27
投資有価証券評価損益(△は益)	3	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	△95
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△43
株主優待引当金の増減額(△は減少)	5	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35	51
受取利息及び受取配当金	△476	△473
支払利息	27	24
為替差損益(△は益)	195	△78
投資有価証券売却損益(△は益)	△20	△2,031
固定資産売却損益(△は益)	11	△62
固定資産除却損	59	110
店舗売却損益(△は益)	△50	△45
売上債権の増減額(△は増加)	771	△2,056
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,144	△1,759
仕入債務の増減額(△は減少)	308	2,027
未払賞与の増減額(△は減少)	△146	7
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△1,571	△81
その他の資産の増減額(△は増加)	△407	△1,573
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,219	△1,945
小計	11,327	9,637
利息及び配当金の受取額	469	457
利息の支払額	△23	△14
法人税等の支払額	△4,053	△4,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,721	5,514

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,101	△1,473
定期預金の払戻による収入	430	744
有価証券の取得による支出	△1,000	△2,000
有価証券の売却による収入	2,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△4,802	△5,231
有形固定資産の売却による収入	3	345
店舗売却による収入	126	59
無形固定資産の取得による支出	△1,254	△1,345
投資有価証券の取得による支出	△2,028	△7,265
投資有価証券の売却による収入	2,000	2,084
出資金の回収による収入	8	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,617	△8,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△19,761	△19,635
短期借入れによる収入	20,646	19,716
リース債務の返済による支出	△259	△336
長期借入金の返済による支出	—	△30
長期借入れによる収入	—	165
社債の償還による支出	△13	—
自己株式の取得による支出	△2	△3,583
子会社の自己株式の取得による支出	△1	△97
配当金の支払額	△2,317	△2,317
非支配株主への配当金の支払額	△635	△634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,340	△6,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	△433	835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△669	△8,481
現金及び現金同等物の期首残高	69,870	78,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,201	69,862

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,051,700株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が3,555百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,566百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、返品権付きの販売については変動対価に関する定めに従い、予想される返品部分に関して販売時に収益を認識せず、収益の控除として返金負債を認識しております。また、従来販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費等の一部を、売上高から控除しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の商品及び製品が30百万円、繰延税金資産が155百万円それぞれ増加、未払金が6,904百万円減少、その他流動負債が7,486百万円、繰延税金負債が10百万円それぞれ増加し、利益剰余金の前期首残高は340百万円減少しております。

また、前第2四半期連結累計期間の売上高が16,405百万円、売上原価が1,467百万円、販売費及び一般管理費が14,967百万円それぞれ減少し、営業利益・経常利益・税金等調整前四半期純利益が29百万円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

前連結会計年度に行った会計上の見積りの前提となる仮定を大きく変更する状況には至っていないと判断しておりますが、新型コロナウイルス感染症が社会・経済活動に与える影響は依然不透明な状況が続くと考えられます。健康食品事業に係る固定資産、㈱壺番屋を連結対象会社とした際に計上した商標権および契約関連無形資産の減損検討に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響に関する一定の仮定を用いている為、現時点での想定にさらに大きな変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	56,909	7,898	18,200	21,640	19,023	123,671	—	123,671	14	123,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,291	196	65	28	1,739	4,318	—	4,318	△4,318	—
計	59,200	8,094	18,265	21,668	20,762	127,988	—	127,988	△4,304	123,685
セグメント利益又は 損失(△)	7,957	△52	2,973	△1,443	921	10,356	—	10,356	△450	9,906

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△450百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、(株)老番屋を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産に係る減損損失9,128百万円および店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失136百万円を、「外食事業」のセグメントにおいて計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「外食事業」のセグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は854百万円です。なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の記載金額には、当該のれんの減損も含めて記載しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	54,630	6,885	19,369	22,047	21,159	124,090	—	124,090	37	124,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,335	154	71	58	1,708	4,327	—	4,327	△4,327	—
計	56,965	7,039	19,440	22,106	22,867	128,417	—	128,417	△4,290	124,127
セグメント利益又は 損失(△)	5,402	△333	3,227	526	799	9,621	—	9,621	△589	9,032

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△589百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、137百万円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第1四半期以降に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

(1) 業績の状況

《連結》

(単位:百万円)

	21.3期 第2四半期		22.3期 第2四半期		21.3期 通期		22.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	123,685	—	124,127	100.4%	250,066	—	256,000	102.4%
営業利益	9,906	—	9,032	91.2%	19,413	—	20,000	103.0%
経常利益	8,838	—	10,336	116.9%	19,837	—	22,200	111.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	994	—	7,211	725.2%	8,752	—	14,700	168.0%
包括利益	74	—	9,766	13,208.0%	—	—	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高								
香辛・調味加工食品事業	59,200	—	56,965	96.2%	120,380	—	119,300	99.1%
健康食品事業	8,094	—	7,039	87.0%	15,281	—	15,700	102.7%
海外食品事業	18,265	—	19,440	106.4%	34,056	—	39,000	114.5%
外食事業	21,668	—	22,106	102.0%	44,698	—	45,700	102.2%
その他食品関連事業	20,762	—	22,867	110.1%	43,922	—	44,600	101.5%
調整額	△4,304	—	△4,290	—	△8,271	—	△8,300	—

《事業セグメント別営業利益の状況》

	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
営業利益								
香辛・調味加工食品事業	7,957	—	5,402	67.9%	15,614	—	13,700	87.7%
健康食品事業	△52	—	△333	—	△396	—	100	—
海外食品事業	2,973	—	3,227	108.6%	4,584	—	5,300	115.6%
外食事業	△1,443	—	526	—	△660	—	1,400	—
その他食品関連事業	921	—	799	86.8%	1,770	—	1,600	90.4%
調整額	△450	—	△589	—	△1,498	—	△2,100	—

(2) グループ会社数

	21.3期 第2四半期	22.3期 第2四半期	21.3期 通期
連結子会社数			
国内	36社	37社	37社
海外	14社	15社	15社
海外	22社	22社	22社
持分法適用関連会社			
国内	5社	5社	5社
国内	2社	2社	2社
海外	3社	3社	3社

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	21.3期 第2四半期		22.3期 第2四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	123,685	100.0%	124,127	100.0%	442	0.4%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	59,200	47.9%	56,965	45.9%	△2,235	△3.8%
健康食品事業	8,094	6.5%	7,039	5.7%	△1,055	△13.0%
海外食品事業	18,265	14.8%	19,440	15.7%	1,175	6.4%
外食事業	21,668	17.5%	22,106	17.8%	438	2.0%
その他食品関連事業	20,762	16.8%	22,867	18.4%	2,105	10.1%
調整額	△4,304	△3.5%	△4,290	△3.5%	14	—
売上原価	75,829	61.3%	77,553	62.5%	1,723	2.3%
販売費・一般管理費	37,950	30.7%	37,543	30.2%	△407	△1.1%
広告宣伝費	3,516	2.8%	4,134	3.3%	618	17.6%
運送費及び保管費	5,439	4.4%	5,302	4.3%	△137	△2.5%
販売手数料	53	0.0%	58	0.0%	5	9.5%
販売促進費	1,128	0.9%	1,474	1.2%	346	30.7%
人件費	14,151	11.4%	13,878	11.2%	△273	△1.9%
研究開発費	2,039	1.6%	2,134	1.7%	96	4.7%
のれん償却額	1,708	1.4%	22	0.0%	△1,686	△98.7%
その他	9,915	8.0%	10,540	8.5%	625	6.3%
営業利益	9,906	8.0%	9,032	7.3%	△874	△8.8%
営業外収益	1,114	0.9%	1,816	1.5%	702	63.0%
営業外費用	2,182	1.8%	512	0.4%	△1,670	△76.5%
経常利益	8,838	7.1%	10,336	8.3%	1,498	16.9%
特別利益	83	0.1%	2,144	1.7%	2,061	2,483.6%
特別損失	9,354	7.6%	261	0.2%	△9,093	△97.2%
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△433	△0.3%	12,219	9.8%	12,652	—
法人税等	967	0.8%	3,981	3.2%	3,014	311.6%
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,400	△1.1%	8,238	6.6%	9,638	—
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	994	0.8%	7,211	5.8%	6,216	625.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,394	△1.9%	1,027	0.8%	3,422	—
四半期包括利益	74	0.1%	9,766	7.9%	9,692	13,108.0%

② 営業利益の主な増減要因 (前年同期比較)

(単位：百万円)

売上総利益の減少	△1,281
のれん償却額の減少	1,686
人件費の減少	273
運送費及び保管費の減少	137
マーケティングコスト (広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計) の増加	△969
その他費用の増加	△720

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	21.3期 第2四半期	22.3期 第2四半期	対前年同期増減
受取利息	106	103	△3
受取配当金	370	371	0
受取家賃	394	425	31
為替差益	—	100	100
補助金収入	35	525	490
その他	209	292	84
営業外収益計	1,114	1,816	702
支払利息	27	24	△3
貸貸費用	317	348	30
為替差損	265	—	△265
持分法による投資損失	1,421	27	△1,394
その他	152	114	△38
営業外費用計	2,182	512	△1,670

④ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	21.3期 第2四半期	22.3期 第2四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	0	62	62
投資有価証券売却益	33	2,031	1,998
店舗売却益	50	45	△5
その他	—	6	6
特別利益計	83	2,144	2,061
固定資産売却損	11	0	△11
固定資産除却損	59	110	51
投資有価証券売却損	13	—	△13
投資有価証券評価損	3	14	11
減損損失	9,264	137	△9,127
その他	4	0	△3
特別損失計	9,354	261	△9,093

⑤ 四半期の状況
《連結》

(単位：百万円)

	21.3期					22.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	59,750	63,935			123,685	61,636	62,491			124,127
前期増減	—	—			—	1,886	△1,444			442
営業利益	4,431	5,475			9,906	5,690	3,341			9,032
前期増減	—	—			—	1,259	△2,134			△874
経常利益	4,515	4,324			8,838	6,345	3,991			10,336
前期増減	—	—			—	1,830	△333			1,498
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,812	△1,818			994	4,073	3,138			7,211
前期増減	—	—			—	1,261	4,956			6,216
包括利益	2,976	△2,902			74	5,032	4,734			9,766
前期増減	—	—			—	2,055	7,636			9,692

《事業セグメント別売上高》

売上高	21.3期					22.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	29,328	29,872			59,200	27,631	29,334			56,965
前期増減	—	—			—	△1,696	△538			△2,235
健康食品事業	3,739	4,355			8,094	3,351	3,689			7,039
前期増減	—	—			—	△389	△666			△1,055
海外食品事業	8,095	10,170			18,265	9,813	9,627			19,440
前期増減	—	—			—	1,718	△543			1,175
外食事業	10,426	11,242			21,668	11,126	10,979			22,106
前期増減	—	—			—	700	△262			438
その他食品関連事業	10,676	10,086			20,762	11,675	11,192			22,867
前期増減	—	—			—	999	1,106			2,105
調整額	△2,514	△1,790			△4,304	△1,960	△2,330			△4,290
前期増減	—	—			—	554	△540			14

《事業セグメント別営業利益》

営業利益	21.3期					22.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	4,275	3,682			7,957	3,075	2,326			5,402
前期増減	—	—			—	△1,199	△1,356			△2,555
ROS	14.6%	12.3%			13.4%	11.1%	7.9%			9.5%
健康食品事業	△223	171			△52	△163	△170			△333
前期増減	—	—			—	60	△341			△281
ROS	△6.0%	3.9%			△0.6%	△4.9%	△4.6%			△4.7%
海外食品事業	1,010	1,963			2,973	1,983	1,244			3,227
前期増減	—	—			—	973	△718			254
ROS	12.5%	19.3%			16.3%	20.2%	12.9%			16.6%
外食事業	△927	△516			△1,443	350	176			526
前期増減	—	—			—	1,277	692			1,969
ROS	△8.9%	△4.6%			△6.7%	3.1%	1.6%			2.4%
その他食品関連事業	508	413			921	471	328			799
前期増減	—	—			—	△37	△85			△122
ROS	4.8%	4.1%			4.4%	4.0%	2.9%			3.5%
調整額	△212	△238			△450	△27	△563			△589
前期増減	—	—			—	185	△325			△140

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	21.3期末		22.3期 第2四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	156,939	42.5%	149,943	40.6%	△6,996	現金及び預金の減少 △7,704 有価証券の減少 △4,012 受取手形及び売掛金の増加 2,270 商品及び製品の増加 1,021
固定資産	212,396	57.5%	219,753	59.4%	7,358	投資有価証券の増加 5,904 ソフトウェアの増加 2,283 機械装置及び運搬具の増加 2,179 建設仮勘定の減少 △1,636 ソフトウェア仮勘定の減少 △1,540
資産合計	369,335	100.0%	369,697	100.0%	362	
流動負債	51,910	14.1%	49,494	13.4%	△2,416	未払金の減少 △3,395 未払法人税等の減少 △335 支払手形及び買掛金の増加 2,250
固定負債	30,542	8.3%	30,115	8.1%	△427	繰延税金負債の減少 △589 長期借入金の増加 101
負債合計	82,452	22.3%	79,609	21.5%	△2,843	
株主資本合計	232,389	62.9%	233,728	63.2%	1,339	利益剰余金の増加 4,894 自己株式の増加 △3,555
その他の包括利益 累計額合計	25,437	6.9%	27,076	7.3%	1,639	為替換算調整勘定の増加 1,921 退職給付に係る調整累計額の減少 △501
非支配株主持分	29,058	7.9%	29,284	7.9%	226	
純資産合計	286,883	77.7%	290,088	78.5%	3,205	
負債純資産合計	369,335	100.0%	369,697	100.0%	362	

(5) 連結キャッシュ・フローの状況

《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位：百万円)

	21.3期第2四半期 累計期間	22.3期第2四半期 累計期間	対前年同期 増減	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	7,721	5,514	△2,207	減損損失の減少 △9,127 売上債権の増減額 △2,827 投資有価証券売却損益の増加 △2,011 税金等調整前四半期純利益の増加 12,652
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,617	△8,080	△2,463	投資有価証券の取得による支出 △5,237 有価証券の取得による支出 △1,000 有価証券の売却による収入 4,000
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,340	△6,751	△4,410	自己株式の取得による支出 △3,581 短期借入れによる収入 △930 長期借入れによる収入 165
現金及び現金同等物 四半期末残高	69,201	69,862	661	

(6) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	21.3期 第2四半期	22.3期 第2四半期	22.3期 通期見込
設 備 投 資	3,546	5,257	15,000
リ ー ス	184	444	500
合 計	3,730	5,701	15,500

(7) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	21.3期 第2四半期	22.3期 第2四半期	22.3期 通期見込
減 価 償 却 費	5,016	5,234	10,900
支 払 リ ー ス 料	172	150	300
合 計	5,188	5,384	11,200

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(8) 主要経営指標等

《連結》

	21.3期	22.3期 第2四半期	22.3期 通期修正予想
一株当たり四半期(当期)純利益	86.87円	72.00円	147.19円
一株当たり純資産	2,559.12円	2,615.78円	—
総資本回転率	0.68回	—	—
売上高営業利益率	7.8%	7.3%	7.8%
E B I T D A マージン	12.4%	11.5%	12.1%
売上高経常利益率	7.9%	8.3%	8.7%
総資産営業利益率	5.3%	—	—
自己資本当期純利益率	3.5%	—	5.6%
自己資本比率	69.8%	70.5%	—
一株当たり配当金	46.00円	23.00円	46.00円
配 当 性 向	53.0%	31.9%	31.3%
利益配分の基本方針に基づく 配 当 性 向	29.6%	31.6%	31.0%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	21.3期	22.3期	22.3期 通期修正予想
	6,153人	6,288人	—

◎休職者・パートを含みません。

(9) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ルウカレー	563	539	522	513
ルウシチュー	215	201	193	194
ルウハヤシ	72	72	72	74
レトルトカレー	692	729	774	810
スパイストータル	842	877	903	1,026

② ルウカレー市場動向 (S R I +)

2022.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	192円	194円			193円		
	前年差	△4円	+2円			△1円		
ハウス食品	平均売価	192円	193円			192円		
	前年差	△5円	+1円			△2円		
	金額シェア	62.0%	62.1%			62.1%		

出典: (株) インテージ S R I + 月次データ (2021.4-2021.9)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2022.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
	ルウカレー計	90.6%	95.0%			92.7%		
	レトルトカレー計	99.1%	98.8%			99.0%		
	ルウシチュー計	86.0%	103.3%			97.1%		
	ルウハヤシ計	103.6%	91.5%			97.6%		
	スパイス計	91.8%	97.5%			94.6%		
健康食品事業								
	ウコンの力	107.8%	67.8%			82.1%		
	C1000	74.2%	73.8%			74.0%		
	1日分のビタミン	98.2%	114.8%			106.9%		